

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月24日 (2009.9.24)

【公表番号】特表2009-503104(P2009-503104A)

【公表日】平成21年1月29日 (2009.1.29)

【年通号数】公開・登録公報2009-004

【出願番号】特願2008-525187(P2008-525187)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/137

A 6 1 P 11/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月4日 (2009.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実質的に粉末の形状の少なくとも 1 種のバルク固体材料と、凝結していない表面改質ナノ粒子とを含む組成物であって、該表面改質ナノ粒子が、該バルク固体材料の流動性または噴流性を、表面改質ナノ粒子を実質的に含まないバルク固体材料に比べて改善するのに少なくとも十分な量で該組成物中に存在する、組成物。

【請求項 2】

実質的に粉末の形状の少なくとも 1 種のバルク固体材料と、凝結していない表面改質ナノ粒子との混合物を含む組成物であって、該表面改質ナノ粒子が、該組成物に実質的な自由流動性を付与するのに少なくとも十分な量で該混合物中に存在する、組成物。

【請求項 3】

バルク固体材料と、凝結していない表面改質ナノ粒子とを液体中で混合した後、該液体を除去することを含む、流動性粉末組成物の製造方法。

【請求項 4】

製薬上の活性成分及び凝結していない表面改質ナノ粒子を含む治療量の乾燥粉末組成物を投与することによる、哺乳動物の肺への薬剤送達方法。

【請求項 5】

マウスピースと、粉末収容システムと、実質的に粉末の形状の少なくとも 1 種のバルク固体材料及び凝結していない表面改質ナノ粒子の混合物を含む粉末組成物とを備える乾燥粉末吸入装置であって、該バルク固体材料が少なくとも 1 種の製薬上の活性成分を含む、

乾燥粉末吸入装置。